

北海道社会福祉事業団

くしろ地域生活支援センター



にじい路

AUGUST

8

2025



「人を中心に」 ～支援する・されるを越えて、共に生きるとは～

私たち障がい者支援施設の役割は、単に生活や活動を支えることにとどまりません。一人ひとりの「その人らしさ」に寄り添い、「人」としての尊厳と可能性を共に育むことにあります。

くしろセンターの利用者も職員も、みな同じ地域の中で生きる「人間」です。私たちは時に支える側となり、時に支えられる側にもなりながら、お互いの存在を通して成長していきます。支援とは上から差し伸べるものではなく、横に並んで歩む関係性の中にこそ、その本質があります。

近年、「共生社会」や「インクルーシブ」という言葉が広く語られるようになりましたが、これらを実現するために最も大切なのは、「誰もが大切にされる」という実感だと思います。それを形にするために、私たちは制度や支援のあり方を常に見直し、「人を中心に」した関係づくりを心がけています。

事業所における一つひとつの取り組みや会話が、利用者の人生に小さな変化をもたらすことがあります。その積み重ねこそが、まさに「人を中心に据える」支援の姿ではないでしょうか。

これからも、私たちは「人」を出発点に、関係性を育み、思いを重ねることで、誰もが自分らしく生きられる社会づくりに貢献していきたいと考えています。

くしろ地域生活支援センターは、今年11年目を迎えました。これからの10年は、「人」を真ん中に置いた事業運営に心がけていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

くしろ地域生活支援センター
所長 尾野孝宏

各事業所紹介

釧路町児童発達支援センター

釧路町児童発達支援センターは、毎日通われている20名のお子さんと、地域の保育所等と並行して1〜2/W利用されている9名のお子さんがいます。その他相談支援事業（にじ）や、保育所等訪問支援事業、釧路町からの付帯事業などを行っています。就学前までのお子さんが対象で、その子がその子らしく生活できるようにサポートしています。

療育内容は、生活面（着脱・排泄・食事等）のサポート、コミュニケーション・社会性を目標とした設定遊び、職員とできそうなことを1対1で取り組む個別課題、ひとりでできることを経験していただく自立課題、好きなものを選択し過ごす余暇活動などです。

月に1回の参観日では、誕生日会や、親子の触れ合い遊びなどを企画しています。行事参加だけではなく、日々の生活の療育を見ていただきながらご家庭に般化していくことも目指しています。（主査 山吉）



キッズセンターくしろ

キッズセンターでは、ひとりひとりにあわせた活動内容を設定しています。遊びや職員と行う個別課題、ひとりで取り組む自立課題、利用メンバーと一緒にいる設定活動などを組み合わせて活動をしています。

興味関心のあるおもちゃなどを使って遊んだり、時には職員やお子さん同士と一緒にトランプや釣りゲームなどの遊びをしていたりと好きな遊びをして過ごしています。体を動かすことのできるプレイエリアでは、遊具を使って遊んだり、かくれんぼや戦いごっこなどをして元気いっぱい過ごしています。

設定活動では、その季節らしさを取り入れた制作活動や、感覚遊び、ゲーム遊びなどを設定して小集団での活動も行っています。お子さん同士、お互いにしていることに注目したり、道具を共有したり、ルールを理解して参加できるように設定しています。

遊びや学習場面などの活動の中で、大人や他のお子さんとの関わり方などを学んだり、活動のやり方など学べるようにサポートしています。

（保育士 田所）



厚岸町子ども発達支援センター

厚岸町子ども発達支援センターでは、厚岸町・浜中町在住のお子さんを対象に児童発達支援・放課後等デイサービスを行っています。

児童発達支援では、未就学のお子さんを対象に個別療育や小集団での活動を行っています。個別ではそれぞれの発達や好きなものに合わせて勉強を組み、マッチング、ひも通し、パズル、制作などに取り組んでいます。小集団ではサーキット、パラバルーン、風船遊びなど室内で身体を動かす遊びや新聞紙遊び、小麦粉粘土、スライムなどの感覚遊び、その他にも屋外での散歩や公園遊び、雪遊びを行うことや季節に応じた行事（ハロウィンやクリスマスなど）のイベントなどで仮装してお菓子をもらったり、おやつを食べる行事などを行っています。

放課後等デイサービスではSSTを行ったり、ゲーム性のある設定活動、掃除や整理整頓などの療育に加え、夏休み、冬休みの長期休みを利用して外出を行っています。夏休みは釧路の商業施設などでの買い物学習、ボーリング、公園での水遊びなどを行っています。冬休みは町内のスーパーでの買い物学習や簡単な調理学習（スポンジケーキのデコレーション）、体育館遊びをしています。買い物では自分でお金の管理をしながら欲しいものを探して、電卓などを使いながら計算して商品を選び買い物をしています。調理学習では、スポンジケーキにクリームやお菓子を飾り付けしたり、アイスにトッピングをして食べています。体育館遊びでは、広いスペースでのボール遊びや鬼ごっこなど普段とは違った余暇活動も行っています。今後も子どもさんやご家族のご意見もいただきながら、季節ごとに色々な行事などを行っていく予定です。（指導員 田嶋）



白糠町子ども発達支援センター

白糠町子ども発達支援センターは、北海道社会福祉事業団が運営する白糠学園が平成19年4月から白糠町より委託を受け開始しており、平成27年からはくしろ地域生活支援センターの管轄として児童発達支援事業所となっています。令和4年8月に以前の建物から新しい建物に移転し、こども園、小学校、中学校、発達支援センター、子育て支援センターが1つの建物となっています。

当センターでは、白糠町内と音別町のお子さんを対象に午前は児童発達支援、午後は放課後等デイサービスを行い定員は1日10名の計50名でサービスを提供しています。送迎も白糠町内、音別町の方には行っています。対象児童は、心身の発達の遅れや心配のある就学前の乳幼児や小学生に対し個々の発達に合わせて個別療育や集団療育を行っています。児童発達支援では自立課題や個別課題、遊びを中心に活動しています。また小集団活動として、粘土、シャボン玉、サーキット遊びなどにも取り組んでいます。放課後等デイサービスでは宿題、自立課題、おやつ、遊びの時間を設け活動しています。遊びの時間には、新聞紙や段ボールなど身近な材料を使い工作をしたり子どもたちと職員でルールのあるゲームに取り組むなど楽しみながら活動し、天候や体調に配慮しながら公園遊びなど屋外での活動や外出行事なども行っています。（保育士 安宅）



相談支援センター あ〜かす

相談支援センターあ〜かすは、障がいのある方やそのご家族が地域で安心して暮らせるよう、さまざまな相談に応じています。「福祉サービスを利用したいけれど、どうすればいいかわからない」「将来のことが不安」「仕事や生活のことで悩んでいる」など、どんなことでもお気軽にご相談ください。相談支援専門員が一人ひとりのお話を丁寧にお聞きし、必要なサービスや支援につなげるお手伝いをします。また、サービス等利用計画の作成や、関係機関との調整も行っています。

皆様の「こうしたい」「こうなりたい」という気持ちに寄り添いながら、一緒に考えていきますので、どこに相談してよいか分からない時は是非ご連絡ください。（相談員 長田）



グループホーム



くしろ地域生活支援センターでは、釧路町には3箇所、男性専用のホームが2箇所、女性専用のホームが1箇所あり、釧路市にはアパート型のホームが1箇所あり、入居者は20代から70代までと幅広い年齢層の方たちが共同で生活されています。

また、各ホーム経験のある世話人さんが、みなさんが過ごしやすいよう日々業務にあたってくれており、看護師さんは小さな変化も見逃さず、みなさんの健康管理、通院対応、的確な指示を出してくれる頼もしい存在です。

支援員はみなさんが働きやすいようフォローしていき、今年度は入居者が楽しめるような行事を多く行えるように考えています。

これからもホームで過ごされる方が安心して生活できるよう職員一同頑張ります。（GH支援員 堀）



釧路町障がい者地域生活支援センター

ほんとでは、暖かい季節には散歩やドライブを定期的に行っています。外出やドライブを楽しみにされている方もいて、ほんとでの日中余暇活動とは違う内容にする事で気分転換になっていると思います。ドライブだけではなく、ホームセンターで店内散策やコンビニで買い物をしたりと利用者さんのリクエストを交えながら予定を作り活動しています。月に一度利用者さんからのリクエストを聞き、簡単に安全に作業のできる調理実習を行っています。

(所長 畑山)



くしろ地域生活支援センター総務課

くしろ地域生活支援センター総務課は、釧路町保健福祉センター「あいぱーる」の2階で業務を行っています。

総務課の仕事内容は、電話・来客対応、郵便物の仕分け、社内文書の作成・管理、施設整備等の基本的な業務のほか、職員の勤怠管理・福利厚生・社会保険手続き・給与処理、予算の作成・決算処理、グループホーム・各児童デイで使用する物品購入をしています。

各事業所から毎月末に通園・通所利用実績を送っていただき、その実績をもとに利用者の方々へ郵送する請求書等も作成しています。また、振興局や市町村等と連携をして各児童デイ施設の運営が円滑に進むようサポートしています。

各事業所に伺うこともありますので、その際はお気軽にお声がけください。
(主事 松浦)



職員動向

【令和7年3月退職】

- ・横田 恵 (支援一課)
- ・溝渕 武 (支援二課)
- ・日渡 紗耶香 (支援二課)



【令和7年4月広域移動・着任】

- ・村本 圭佑 北海道地域生活定着支援センター釧路センター
：釧路町児童発達支援センターより
- ・澁谷 理有希 くしろ地域生活支援センター地域生活支援
：太陽の園より



【令和7年4月新規採用】

- ・高橋 菜那 (支援二課)
- ・藤井 一広 (支援二課)
- ・渡邊 彩香 (支援一課総務)



【令和7年5月退職】

- ・小廣川 亜海 (支援二課)

【令和7年5月採用】

- ・加藤 望 (支援二課)

【編集後記】

今年最初のじい路の発行となります。初めての広報経験であり、何もわからない状況からのスタートは本当に不安でしたが、皆様方のご協力もあり、無事発行することができました。広報作業を進めていく中で、利用者・児の方たちも何もわからないところからのスタート、わからない状況の中での生活・・・なんてことが日常で起きているのかも・・・と思うと、ほんの少しですが不安な気持ちを共有できたかもしれません。今回皆様に協力してもらったように、私も利用者・児のニーズに気づいてあげられる、困り感の対処方法を伝えられる人になりたいと思いました。

今後も、くしろ地域生活支援センターの情報を発信していきたいと思います。拙い私ですが、ご協力をお願いします。
(山吉)



【発行元】北海道社会福祉事業団 くしろ地域生活支援センター
〒088-0628

釧路町東陽大通西1-1-1 釧路町保健福祉センターあいぱーる2階

TEL：(0154) 40-5551

FAX：(0154) 40-1302

E-Mail：kushiroshien@dofukuji.or.jp